



©中興共同社

# 社協だより

# 39

平成24年8月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



各地区からの活動や課題の報告を行います。  
写真は本町地区のみなさん

## 川之石地区見守り ネットワーク会議

### 「地域で生活する高齢者が、 安心感をもっていただく 見守り活動を目指します」

平成24年6月12日(火)19時から20時30分、本町自治公民館において、川之石地区見守りネットワーク会議が開催されました。この会議は、川之石地区社会福祉協議会、見守り推進員、民生児童委員、八幡浜市地域包括支援センター、八幡浜市社会福祉協議会で構成されています。

川之石地区社協では、先述のボランティア総勢58名で見守り活動を行っています。定期的にお一人暮らしの高齢者のお宅にお伺いし、お元気でられるかお話ししています。

1年に2回、川之石地区社協全体で見守り活動について話し合いを行います。さらに小さな地区(琴平、本町、赤網代、内之浦、西町、楠町、和田町、雨井)で話し合いを行っています。見守り活動で工夫している

こと、高齢者の困りごと、担当している地区の特徴など報告します。

「高齢者を介護している方を、住民や行政でサポートすることが必要ではないでしょうか」

「地区で毎朝、ラジオ体操をして、見守り活動の意見交換をしています」

「区と連携して見守り活動を展開しています」

「年齢ではなく生活のしづらさに焦点をあてて、見守り活動をすべき」

支援者が困って抱え込むのではなく、個人情報に配慮しながら、みんなが話し合いをして解決策を考えます。

川之石地区社協会長 那須弘さん「高齢者の孤独死を発見することが見守り活動の目的ではありません。私たちが積極的に関わることで、高齢者の孤独を防ぎ、安心感を持って頂きたい」

# 川之石赤網代地区 あかじろ

## 「毎朝のラジオ体操は、赤網代地区の井戸端会議です」



早くインタビューに応じて頂きました



ラジオ体操の開催場所

川之石赤網代地区では、毎朝ラジオ体操を行っています。健康づくり、情報交換等様々な効果がみられています。平成24年6月21日(木)、民生児童委員 那須定義さん、老人クラブ会長 奥藤均さん、赤網代おたのしみ会 亀井富美子さん、那須慶子さんにインタビューしました。

ラジオ体操をはじめたきっかけは

以前は、地域の人が「ちびっこ広場」で毎朝6時30分からラジオ体操を行っていました。しかし、様々な事情のため中止となりました。

平成22年11月から亀井さんの発案により、現在の場所(写真参照)でラジオ体操が再開されました。ラジオ体操はみんながなじみがあり、とりくめるので一番です。

ラジオ体操をはじめるとあたってどのように住民に周知しましたか

亀井さんは赤網代おたのしみ会(ふれあい・いきいきサロン)の代表お世話人を行っています。毎月1回、赤網代公民館で、サロンを開催しています。サロンの開催の時に、みなさんをラジオ体操にお誘いしました。

どのような方がラジオ体操に参加していますか

老人クラブの会長、日赤奉仕団、サロンの世話人・参加者、見守り協力員など8名が参加しています。民生児童委員の那須さんは自宅の2階



ラジオ体操なかま

から、ラジオ体操の様子を見守ってくれています。平均年齢は70歳をこえていると思います。大雨の日は中止しますが、小雨ならラジオ体操を行います。習慣になっていたので、毎朝8時30分に、みんながいつもの場所に集まります。

みんな、今まで以上に元気になりました。ラジオ体操がおれば、輪になってみんなで話します。地域の行事から高齢者の困りごとまで、さまざまな情報の交換が行われます。そして、お互いの活動の理解が深まりました。まさに、地域の井戸端会議です。

また、奥藤さんはラジオ体操が終わり、自宅までの帰路の際には、お一人暮らしの高齢者に声をかけるなど、地域の見守り活動に貢献されています。

ラジオ体操にとりくんで、人や地域の変化がありますか



住み慣れた人でも危ない坂



もちろん、地域ぐるみで続けていきます。現在の開催場所までには、急な坂があり、高齢者が参加したくても参加できない場合もあります。参加を希望する方が参加できやすい場所を検討していきたいと思っています。

また、夏休みに小学生がラジオ体操をする場面をみかけなくなっていました。近所の小学生にラジオ体操に参加して交流を図れるように、PTAさんに働きかけていきたいと考えています。

今後も元気にラジオ体操を続けていきますか

愛媛県のボランティア情報発信

# ボランティア・チャレンジ 2012

今年こそボランティアに挑戦

1年を通して、皆さんがボランティア活動や地域活動に参加することを応援する「ボランティア・チャレンジ2012」が実施されます。

さまざまな種類・分野のボランティア募集情報を提供するほか、年4回のボランティアウィーク（8月、10月、12月、2月）において、季節版のボランティア情報を掲載したり、リーフレットの配布およびNPO法人のイベントを実施いたします。

八幡浜市社協保内支所で配布しているボランティア・ガイドブックや愛媛ボランティアネットをご覧ください、気になるボランティアを見つけたら、ぜひお申し込みを

愛媛ボランティアネット

<http://nv.pref.ehime.jp/>

【お問合せ先】

■愛媛県県民活動推進課  
089-912-2305

■八幡浜市社会福祉協議会  
保内支所  
0894-36-0262

# 八幡浜市ボランティア協議会役員会

「お互いが顔をあわせること、話をする事が大切です」

## 役員会の開催について

八幡浜市と保内町が合併するずっと前から、毎月1回、八幡浜市保健福祉総合センターのボランティアルームで開催しています。時間は19時から1〜2時間程度。役員が無理のない範囲で参加してもらっています。

## 役員会の目的を

八幡浜市ボランティア協議会を構成している団体の活動の結果や予定の報告、行事の協力要請、八幡浜市内外のボランティア情報の発信をしています。本会では福祉のつどいに力をいれており、よりよいつどいにするために、意見を出し合います。はじめに、楽しく、笑いが絶えない中で、話し合いが行われていますよ。お互い、元気な顔をみると安心します。

## 今後の課題について

愛媛県内各市町のボランティア協



いろんな人・世代・団体で和やかな話し合い

平成24年6月に行われた福祉のつどいのふりかえりやこれから行われるボランティア・ワークキャンプや施設で行われる盆踊り大会への協力に関することでした。

## 平成24年度 八幡浜市ボランティア協議会 役員

役職	氏名	所属団体
会長	木村 謙児	八幡浜市VYS連絡協議会
副会長	二宮 園枝	朗読ボランティア どんぐり
〃	鈴木 磨美	YGP (八幡浜元気プロジェクト)
専務理事	宇都宮吉彦	なかよしクラブ
理事	松野 文子	精神保健ボランティアグループ はまかぜ
〃	藤 渕 定代	八幡浜市食生活改善推進協議会
〃	玉 井 裕	八幡浜心身障害者(児)団体連合会
〃	門 田 尊光	八幡浜市VYS連絡協議会
〃	岡野由季枝	手話サークル あゆみの会
〃	菊 池 秋子	八幡浜赤十字奉仕団
監事	菊 池 智美	八幡浜角笛を観る会
〃	日 野 文 恵	点訳サークル 竹の子会
会計	都 築 真一	八幡浜市VYS連絡協議会
顧問	五 藤 修一	市内小中学校長会

ボランティアの情報発信ということで、次号からの社協だよりでは各ボランティア団体にインタビューをしていきます。

協議会の存続が難しくなっています。その点、八幡浜市ボランティア協議会・各団体は、とてもよい信頼関係が築けています。八幡浜市のボランティア関係者の情報共有は大切ですので、役員会は続けていきたいです。今後は、八幡浜市ボランティア協議会と八幡浜市社会福祉協議会とが連携して、わかりやすいボランティア

情報が発信し、市民がボランティアができやすい環境をつくってまいります。



建設的に意見をのべます

# 平成24年度 共同募金配分金助成 事業の配分団体が決定しました

## 7団体7事業で、地域福祉の ために有効に活用します



平成24年6月25日(月)、八幡浜市保健福祉総合センターシルバーボランテียร์ームにおいて、八幡浜市共同募金配分委員会を開催しました。共同募金配分金助成の申請があった団体の事業について、住民福祉の向上の観点から、助成することが適切であるかどうかをはかりました。厳正なる審査の結果、申請のあった7団体7事業全てについて、助成することが決定しました。八幡浜市民の皆様からいただいた善意の寄付から、1事業3万円が助成されます。委員会からは「申請書の内容や書き方については、もう少しわかりやすく適切にすることにとめてほしいです」「例年同じ団体からの申請が主になっています。多種多様な団体から申請があがってくるよう、広く周知する必要があるのではないのでしょうか」等の意見がありました。

### 【平成24年度 八幡浜市共同募金配分委員会】

委員氏名	所属団体
菊池 清之	八幡浜市社会福祉協議会 会長
田中 定彦	八幡浜市民生児童委員協議会 会長
白石 喜美子	八幡浜市連合婦人会 会長
記藤 聰子	八幡浜市民生児童委員協議会 副会長
佐藤 二二男	地区社会福祉協議会会長会 副会長
菊地 千鶴	八幡浜市女性団体連絡協議会 副会長
二宮 真人	八幡浜少年ホーム 園長
竹内 光代	保内町赤十字奉仕団 委員長

### 【平成24年度 八幡浜市共同募金配分金事業 助成団体】

助成団体名	事業名	内容
八幡浜市ともしび婦人会	ジャンボかるた取り大会事業	ジャンボかるた取り大会に参加。手づくりのおやつと飲み物の配布。
巣立ちの会	親子クリスマス会	発達に不安を持つ子供を抱える家庭に、クリスマス会を開催。
ほほえみ会	社会参加促進事業	身体に障害をもちながらも社会参加を心がける。屋外研修会、お花見等
神山おやじ隊	神山おやじ隊 夏休みデイキャンプ	神山小学校運動場にて、ゲームや柱祭りミニ版のコーナーを設け、子供たちが1日楽しく体験できるようにする。
朗読ボランティア どんぐり	視覚障害者との料理教室開催事業	視覚障害者とボランティアが調理・軽食会を行い、交流を図る。
点訳サークル 竹の子会	視覚障害者との交流事業	陶芸教室（形作り、釉薬（ゆうやく）） パン教室
家族支援・自立活動グループ リトルウィング	発達しょうがい者の実践型就労研修事業	パソコン技術の研修、調理実技研修並びにコミュニケーションの向上

# 成年後見制度出前講座

## 「障害も後見制度も、知ってもらうことが大事」

平成24年6月17日(日)13時〜15時、八幡浜市保健福祉総合センターにおいて、愛媛高次脳機能障害者を支援する会「あい」が成年後見制度をテーマに研修会を開催しました。障害をもつ本人の家族、愛媛大学、大洲中央病院、保健所等約20名が出席しました。そして、八幡浜市社会福祉協議会の社会福祉士が講師をとめました。

高次脳機能障害は、交通事故や疾患により、脳に重大な損傷を受ければ誰もがなりうる障害です。「みえない障害」ともいわれ、

「みえない障害」ともいわれ、

「みえない障害」ともいわれ、

「みえない障害」ともいわれ、

「みえない障害」ともいわれ、

広く地域住民のみなさんの理解が必要で、また、「親亡きあと」の本人の財産管理や入院・サービス利用の手続きなどの支援が必要です。手段として、成年後見制度が有効な場合があります。

成年後見制度の必要性や制度の仕組み、手続き、事例について勉強しました。「あい」や八幡浜市社会福祉協議会は障害があっても、人がもつ当然の権利が保障される地域の実現を、共に目指します。

### 高次脳機能障害に関するお問い合わせ

- 八幡浜保健所  
0894-22-4111
- 大洲中央病院 医療相談室  
0893-24-4551
- 愛媛高次脳機能障害者を支援する会  
副代表 石田幸政さん  
0894-24-6527

# 八幡浜市社協は成年後見にとりこんでいます

## 「八幡浜市民が、権利を大切に安心した生活を送ろう」

平成24年6月28日(木)、八幡浜市社会福祉協議会(以下、本会)が、法人後見事業検討委員会を開催しました。

本会が法人後見事業を行うにあたり、成年後見人等を受けることが適切であるかどうか、後見業務に関する指導・助言、適正な運営をはかることを目的に、平成17年5月より、委員会が設置されてい

ます。委員会は大学教授、社会福祉士、弁護士、司法書士、行政等7名で構成されています。

今回の検討事例：八幡浜市長が松山家庭裁判所大洲支部へ成年後見人の選任を申立てしました。そして松山家庭裁判所より、60代後半の女性Aさん(認知症、要介護4、八幡浜市内の病院に入院中)について、本会が成年後見人をしてほしいと依頼を受けました。Aさんは病気が安定し、継続して入院することができません。しかし、

認知症が進み、Aさん自身で介護保険施設を選択し入所の契約を行うことができません。また、Aさんの親族も協力することができない状況です。自宅や通帳の管理も困ります。

今回の委員会では、本会がAさんの成年後見人となり、入所の手続きや通帳・自宅の管理を支援すべきという意見でまとまりました。

平成24年7月6日現在、本会では、成年後見人として8名の方を支援しています。

### 成年後見制度に関するお問い合わせ

- 松山家庭裁判所 大洲支部  
0893-24-2038
- 八幡浜市役所 社会福祉課  
0894-22-3111
- 八幡浜市地域包括支援センター  
0894-24-3918
- 八幡浜市社会福祉協議会  
0894-23-2940

# ふれあい・いきいきサロン

## お世話人研修会 「楽しく、気軽に、 ムリなく」

### ムリなく

平成24年6月29日(金)13時30分～15時30分、八幡浜市保健福祉総合センターにおいて、「ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会」を開催しました。(八幡浜市社会福祉協議会主催)お世話人やサロン運営に協力している127名の方が参加されました。



みんなではつつ介護予防体操



熱演するどんぐりさん

現在、八幡浜市内では65ヶ所の高齢者サロンが活躍しています。「楽しく、気軽に、ムリなく」をモットーに、公民館等で茶話会をしたりボランティアなどをして、高齢者の生きがいづくりやつながりづくりを、地域住民自身の手で応援しています。

今回の研修会では、お世話人さんの顔ぶれがかわってきていることから、あらためてサロンについて考える機会をもちました。また、視覚障害のある方のために、広報紙をCDやテープに録音される活動に携わっている朗読ボランティア どんぐりの方に、大きな紙芝居「宮忠八物語」の読み聞かせを披露していただきました。今後、要望があれば、サロンへ読み聞かせ出張をしていただけます。

# 平成23年度 八幡浜市社会福祉協議会

## 事業報告・決算報告

八幡浜市社会福祉協議会は、平成23年度事業計画および予算にもとづき、各種福祉団体・関係行政機関等の協力を得ながら、多岐にわたる福祉活動を本所・支所・事業所との連絡を密にし、それぞれの役割分担を明確にして、地域福祉の推進と在宅福祉サービス向上に積極的にとりくみました。ここに心よりお礼を申し上げます。平成23年度の事業報告および決算についてご報告いたします。

### A 法人運営の基盤整備の推進

- ・ 社協の運営体制の整備と基盤強化

- ・ ふれあい・子育てサロン (12ヶ所)

- ・ 市社協だより(年6回)、各地区社協だより

- ・ 給食サービス(地区社協、75歳以上のお一人暮らしの高齢者、86回、7,607食)

- ・ ボランティア協議会の活動促進・支援

### B 地域福祉活動の推進

- ・ 社会福祉大会の開催

- ・ 地域福祉基金の活用による福祉活動の推進(地区社協)

- ・ 独居高齢者等見守りネットワーク事業

- ・ ふれあい・いきいきサロン(67ヶ所)

- ・ 第24回福祉のついで

- ・ 各種ボランティア養成講座・研修会および参加(手話奉仕員、精神保健ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、

- ・ 傾聴ボランティア、なんよ協働推進フォーラム等)

- ・ ボランティアアグループの育成支援(共同募金配分金)
  - ・ ボランティアアワークキャンプ
  - ・ 福祉教育体験学習 (2校、2回)
  - ・ 福祉施設の夏祭りの活動支援 (3施設)
  - ・ ボランティア保険およびボランティア行事用保険の加入
  - ・ 共同募金運動、歳末たすけあい運動に対する協力
  - ・ 一日里親の会、母子ふれあい旅行への支援
  - ・ 手話通訳派遣事業
  - ・ 手話通訳研修会
  - ・ 障害者スポーツ大会
  - ・ 浜っ子ふれあい広場への支援
  - ・ 障害者料理教室
  - ・ 社会福祉関係機関・団体との連携強化
- C 在宅福祉サービスの推進**
- ・ 介護保険事業の推進 (居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴、短期入所)
- ・ 保健福祉・介護保険外事業の推進
  - ・ 福祉用具貸し出し
  - ・ 介護予防教室通所事業
  - ・ 通所型介護予防事業
- D 福祉サービス利用支援 推進**
- ・ 福祉サービス利用援助事業
  - ・ 成年後見制度利用支援事業
  - ・ 法人後見事業
  - ・ 災害見舞金給付事業
  - ・ 生活福祉資金貸付事業
  - ・ 離職者支援貸付事業
  - ・ 小口資金貸付事業
  - ・ 心配ごと相談所
- E 施設サービスの推進**
- ・ 養護老人ホーム「湯島の里」「あけぼの荘」の管理・運営

## 平成 23 年度 決算報告

収入項目	決算額 (円)
会費	7,116,048
寄付金	1,880,695
経常経費補助金	31,193,000
助成金	4,117,201
受託金	15,921,340
事業収入	2,147,360
貸付事業	910,500
共同募金配分金	11,383,262
介護保険	184,957,868
補助事業等	4,743,923
障害者自立支援事業	3,421,070
利用料	1,251,850
措置費	190,135,000
雑収入	1,890,103
受取利息配当金	88,345
経理区分間繰入金	33,221,927
積立預金取崩	334,749
その他	1,217,784
<b>収入合計</b>	<b>495,932,025</b>

支出項目	決算額 (円)
人件費	308,574,469
事務費	23,755,829
事業費	100,212,605
貸付事業等	899,500
助成金	10,730,869
経理区分間繰入金	33,221,927
固定資産取得支出・繰入	679,851
積立預金積立支出	2,597,053
その他	2,034,171
<b>支出合計</b>	<b>482,706,274</b>

【前期未払資金残高】 217,371,740円  
 +  
 【 収入合計 】 495,932,025円  
 -  
 【 支出合計 】 482,706,274円  
 =  
 【当期末払資金残高】 230,597,491円